

# 平成19年2月期 中間決算説明資料

〔 自 平成18年3月1日  
至 平成18年8月31日 〕

## 株式会社 大丸

### 目 次

#### 大丸連結決算関係

1. 連結経営成績(当中間期及び年度予想).....	1
2. 連結子会社の状況(当中間期及び年度予想).....	2
3. 連結設備投資額(当中間期及び年度計画).....	3
4. 販売費及び一般管理費の内訳(当中間期及び年度予想).....	3
5. 連結特別損益の内訳(当中間期及び年度予想).....	3
6. 連結会社の従業員数の推移.....	3
7. 連結貸借対照表科目の主な増減理由.....	4
8. 事業の種類別セグメント情報(当中間期及び年度予想).....	4

#### 大丸単体決算関係

1. 経営成績(当中間期及び年度予想).....	5
2. 売上高の概要	
店別売上高(当中間期及び年度予想).....	5
月別売上高対前年増減率推移.....	6
売上高区分.....	6
イ. 現金・掛売別内訳	
ロ. 法人・個人別売上構成比(掛売上)	
ハ. 自社力・ド売上高及び稼働客数	
商品別売上高及び粗利益率.....	6
店別営業日数及び総入店客数.....	7
客単価・購買率.....	7
3. 設備投資額(当中間期及び年度計画).....	7
4. 販売費及び一般管理費(当中間期及び年度予想).....	7
5. 特別損益の内訳(当中間期及び年度予想).....	8
6. 従業員数の推移.....	8
7. 貸借対照表科目の主な増減理由.....	8

・大丸連結決算関係

1. 連結経営成績(当中間期及び年度予想)

(単位:百万円、%)

摘 要	当中間期 (18.8)		年度予想 (19.2)	
	金 額	対前年	金 額	対前年
1. 連結売上高	401,141	1.3	830,000	1.1
2. 連結営業利益	13,909	13.5	33,500	9.2
3. 売上高営業利益率	3.5 %	差 0.4 %	4.0 %	差 0.3 %
4. 連結経常利益	13,536	15.0	32,500	7.7
5. 売上高経常利益率	3.4 %	差 0.4 %	3.9 %	差 0.2 %
6. 連結中間(当期)純利益	6,860	8.5	17,000	6.1
7. 売上高中間(当期)純利益率	1.7 %	差 0.1 %	2.0 %	差 0.0 %
8. 売上高粗利益率	24.93 %	差 0.14 %	24.94 %	差 0.14 %
9. 連結総資産額	371,454	10,324	373,000	2,636
10. 連結純資産額	99,657	16,760	108,500	13,424
11. 連結有利子負債総額	87,960	10,892	79,000	14,462
12. 連結金融費用	516	40	1,100	87
13. 連結子会社数	21 社	-	21 社	1社増加
14. 持分法適用会社数	4 社	1社増加	4 社	-
15. 営業活動によるキャッシュ・フロー	10,728	3,202	26,000	2,684
16. 投資活動によるキャッシュ・フロー	6,375	8,067	1,000	4,061
17. 財務活動によるキャッシュ・フロー	7,013	3,087	19,000	2,284
18. 連単倍率(売上高)	1.77	差 0.01	1.75	差 0.00
19. " (営業利益)	1.64	差 0.06	1.61	差 0.06
20. " (経常利益)	1.46	差 0.03	1.55	差 0.07
21. " (中間(当期)純利益)	1.28	差 0.06	1.39	差 0.10
22. 株主資本利益率(ROE)	7.3 %	差 0.7 %	17.3 %	差 1.7 %
23. 総資産利益率(ROA)	3.8 %	差 0.4 %	9.0 %	差 0.6 %
24. 投下資本利益率(ROI)	7.3 %	差 0.8 %	17.6 %	差 1.2 %

(注)1. ROE算出の利益は中間(当期)純利益、ROA算出の利益は営業利益、ROI算出の利益は経常利益を使用しております。

2. 10の対前年欄については、前期数値を資本の部の額と少数株主持分の額の合計額としたものを使用して算出しております。

## 2. 連結子会社の状況（当中間期及び年度予想）

（単位：百万円）

会社名	資本金	所有割合	事業の内容	当中間期(18.8)			年度予想(19.2)		
				売上高	経常利益	中間純利益	売上高	経常利益	当期純利益
1. (株)大丸ピ - コック	2,550	100.0	スーパー・マーケット業	51,350	724	365	103,000	1,600	800
2. 大丸興業(株)	1,800	100.0	物品卸売業・輸出入業	43,110	1,127	251	88,000	2,250	940
3. (株)消費科学研究所	450	100.0	商品試験・品質管理業	345	28	12	700	46	20
4. (株)今治大丸	300	100.0	百貨店業	3,009	6	36	6,400	70	20
5. (株)大丸友の会	100	100.0	前払式特定取引業	533	53	29	1,140	95	54
6. (株)大丸装工	100	100.0	建築工事請負業	14,557	291	114	29,500	720	320
7. (株)レストランピ - コック	100	100.0	飲食店業	1,408	55	3	2,800	120	20
8. (株)大丸クレジットサービス	100	100.0	クレジット業	2,269	208	111	4,800	430	280
9. (株)大丸ホームショッピング	100	100.0	通信販売業	8,083	65	79	18,300	400	350
10. (株)ディンプル	90	100.0	人材派遣業	2,875	102	56	5,800	200	120
11. (株)大丸セルスアソシエーツ	90	100.0	販売業務・店舗運営業務受託業	353	21	19	780	29	29
12. (株)大丸コム開発	50	100.0	不動産賃貸業・テナント業	439	72	39	900	130	70
13. (株)大丸リース&サービス	30	100.0	リース業・駐車場管理業	1,600	53	30	3,000	94	50
14. (株)モ - ドアトリエ	10	100.0	婦人服製造業	352	24	24	500	80	80
15. (株)大丸情報センター	10	100.0	情報サービス業	4,065	134	69	6,900	166	80
16. (株)大丸ビジネスサポート	10	100.0	事務処理業務受託業	892	13	8	1,740	18	10
17. (株)下関大丸	480	92.0	百貨店業	10,790	336	195	22,650	930	550
18. (株)高知大丸	300	85.0	百貨店業	8,923	132	49	18,850	660	340
19. (株)博多大丸	3,037	69.9	百貨店業	36,901	2,196	1,299	77,250	5,150	2,830
20. (株)大丸木工	80	(100.0)	家具製造業	623	38	21	1,300	70	40
21. (株)DHJ	80	(100.0)	家具卸売・小売業	1,371	3	1	2,900	10	10

（注）平成18年3月1日に事務処理業務受託業の(株)大丸ビジネスサポートを設立しております。

### 3. 連結設備投資額(当中間期及び年度計画)

(単位:百万円)

内 訳	当中間期(18.8)	年度計画(19.2)	備 考
1. 株 大 丸	3,441	7,500	P7.設備投資額参照
2. 株 高 知 大 丸	288	330	売場改装工事
3. 株 下 関 大 丸	261	300	"
4. 株 大 丸 ピ ー コ ッ ク	239	1,200	下期改装店数1店
5. 株 博 多 大 丸	210	640	売場改装工事
6. 大 丸 興 業 株	55	500	
7. そ の 他	348	730	
8. 連 結 消 去	97	200	
計	4,748	11,000	

### 4. 販売費及び一般管理費の内訳(当中間期及び年度予想)

(単位:百万円、%)

内 訳	当中間期(18.8)			年度予想(19.2)		
	金額	対前年	売上比率	金額	対前年	売上比率
人 件 費	32,965	9.2	8.2	66,214	6.2	8.0
広 告 宣 伝 費	12,083	2.0	3.0	25,531	1.6	3.1
(内ポイント費)	4,659	4.0	1.2	10,509	3.8	1.3
包 装 配 達 費	3,519	15.8	0.9	7,279	7.7	0.9
作 業 費	7,418	24.8	1.8	13,642	13.9	1.6
賃 借 料	10,995	0.8	2.7	22,043	0.8	2.7
減 価 償 却 費	4,226	3.2	1.1	8,497	2.0	1.0
そ の 他 経 費	15,679	2.3	3.9	31,894	0.9	3.8
合 計	86,885	1.0	21.7	175,100	0.9	21.1

(注)

販管費処理の減価償却費以外に、製造原価処理の減価償却費があります。

当中間期 年度予想  
10百万円 20百万円

### 5. 連結特別損益の内訳(当中間期及び年度予想)

(単位:百万円)

内 訳	当中間期(18.8)	備 考	年度予想(19.2)	備 考
特別利益	5,398		5,478	
1. 固定資産売却益	4,180	株大丸:遊休不動産2物件	4,260	株大丸:遊休不動産3物件
2. 投資有価証券売却益	1,218	大丸興業株:上場株式	1,218	大丸興業株:上場株式
特別損失	1,437		2,278	
1. 固定資産除却損等	255	主に株大丸:売場改装による	723	主に株大丸:売場改装による
2. 減損損失	1,125	大丸興業株:不動産4物件	1,125	大丸興業株:不動産4物件
3. 新設店舗開設前費用	56	株大丸:ららぽーと横浜店	430	株大丸:ららぽーと横浜店

### 6. 連結会社の従業員数の推移

(単位:人)

内 訳	H17.8 実績	H18.2 実績	H18.8 実績	H19.2 (予想)
株 大 丸	5,514	5,395	5,351	5,375
連 結 子 会 社	7,802	6,774	6,775	6,817
計	13,316	12,169	12,126	12,192

P8.従業員数の推移参照

(注)H18.2の連結会社の減少は、株アソシアの連結会社から除外によるものであります。

## 7. 連結貸借対照表科目の主な増減理由

当中間期末残高が、前期末及び前中間期末と比較して、大きく増減している科目及び増減理由は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

科 目	当中間期末(18.8)	前中間期末(17.8)	増減高	前期末(18.2)	増減高
1. 現金及び預金	34,072	19,206	14,866	23,977	10,095
2. 建物及び構築物	82,060	86,565	4,505	84,938	2,878
3. 土地	62,628	65,068	2,440	66,103	3,475
4. 投資有価証券	24,696	21,765	2,931	27,045	2,349
5. 繰延税金資産(固定)	11,522	18,265	6,743	15,050	3,528
6. 短期借入金	38,635	51,079	12,444	43,572	4,937
7. その他(流動負債)	38,664	32,466	6,198	39,968	1,304
8. 社債	22,500	13,500	9,000	22,500	0
9. 長期借入金	26,824	34,273	7,449	27,389	565

・対前中間期末増減理由について

- 主に城東物流センター、堀江商品倉庫の売却と減価償却の進展による減
- 主に売却及び減損による減
- 主に株式評価替による増
- 主に固定資産の売却並びに取崩及びその他有価証券評価差額金に係る繰延税金負債との相殺額の増加による減
- 主に子会社における未払金の増
- 平成17年9月新規発行90億円

・対前期末増減理由について

- 主に城東物流センター、堀江商品倉庫の売却による減
- 主に売却による減
- 主に売却及び株式評価替による減
- 主に固定資産の売却並びに取崩による減

## 8. 事業の種類別セグメント情報(当中間期及び年度予想)

当中間期実績(18.8)

(単位：百万円)

	百貨店業	スーパーマーケット業	卸売業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高(その他営業収入を含む)							
(1)外部顧客に対する売上高	286,829	49,259	39,564	26,266	401,919		401,919
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	629	2,235	3,546	11,630	18,042	(18,042)	
計	287,458	51,495	43,110	37,896	419,961	(18,042)	401,919
営業費用	276,106	50,683	42,068	37,103	405,960	(17,950)	388,009
営業利益	11,352	811	1,042	793	14,000	(91)	13,909

年度予想(19.2)

(単位：百万円)

	百貨店業	スーパーマーケット業	卸売業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高(その他営業収入を含む)							
(1)外部顧客に対する売上高	599,130	98,600	79,800	54,070	831,600		831,600
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,270	4,680	8,200	22,800	36,950	(36,950)	
計	600,400	103,280	88,000	76,870	868,550	(36,950)	831,600
営業費用	572,400	101,480	85,900	74,720	834,500	(36,400)	798,100
営業利益	28,000	1,800	2,100	2,150	34,050	(550)	33,500

## ・大丸単体決算関係

### 1. 経営成績(当中間期及び年度予想)

(単位:百万円、%)

摘 要	当中間期 (18.8)		年度予想 (19.2)	
	金 額	対前年	金 額	対前年
1. 売 上 高	226,944	0.6	473,500	0.8
2. 営 業 利 益	8,467	17.3	20,800	13.4
3. 売上高営業利益率	3.7 %	差 0.5 %	4.4 %	差 0.5 %
4. 経 常 利 益	9,258	17.5	21,000	12.5
5. 売上高経常利益率	4.1 %	差 0.6 %	4.4 %	差 0.4 %
6. 中間(当期)純利益	5,373	13.6	12,200	13.3
7. 売上高中間(当期)純利益率	2.4 %	差 0.3 %	2.6 %	差 0.3 %
8. 売上高粗利益率	26.90 %	差 0.08 %	26.91 %	差 0.08 %
9. 総 資 産 額	267,039	10,676	268,000	5,288
10. 純 資 産 額	76,937	10,717	82,900	9,338
11. 有利子負債総額	69,459	3,462	61,000	8,279
12. 金 融 費 用	577	146	168	159
13. 保証債務総額	476	45	460	42
14. 営業活動によるキャッシュ・フロー	5,445	2,001	16,000	2,537
15. 投資活動によるキャッシュ・フロー	8,303	3,331	3,000	9
16. 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,261	7,628	11,000	2,764
17. 株主資本利益率(ROE)	7.1 %	差 0.1 %	15.6 %	差 0.1 %
18. 総資産利益率(ROA)	3.2 %	差 0.4 %	7.8 %	差 0.7 %
19. 投下資本利益率(ROI)	6.4 %	差 0.8 %	14.6 %	差 1.5 %

(注) ROE算出の利益は中間(当期)純利益、ROA算出の利益は営業利益、ROI算出の利益は経常利益を使用しております。

### 2. 売上高の概要

#### 店別売上高(当中間期及び年度予想)

(単位:百万円、%)

店 別	期 別	当中間期 (18.8)			年度予想 (19.2)		
		金 額	対前年	構成比	金 額	対前年	構成比
大阪・心斎橋店		41,824	2.4 %	18.4 %	87,800	1.2 %	18.6 %
大阪・梅田店		32,027	1.1	14.1	67,300	0.2	14.2
東 京 店		25,887	0.4	11.4	52,700	0.2	11.1
京 都 店		40,409	2.0	17.8	85,000	0.5	18.0
山 科 店		2,843	0.2	1.2	5,800	0.9	1.2
神 戸 店		48,257	0.4	21.3	101,000	0.5	21.3
新 長 田 店		3,142	2.4	1.4	6,200	1.9	1.3
須 磨 店		5,409	2.7	2.4	10,900	2.7	2.3
芦 屋 店		4,448	2.5	2.0	9,100	2.0	1.9
札 幌 店		22,694	6.5	10.0	47,700	5.9	10.1
合 計		226,944	0.6	100.0	473,500	0.8	100.0

## 月別売上高対前年増減率推移

(単位:%)

摘 要	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	上期計
全 社	3.6	0.1	0.4	1.3	0.1	1.3	0.6

## 売上高区分

### イ. 現金・掛売別内訳

(単位:百万円、%)

区 分	金 額	対前年	構成比
現金売上	191,716	0.4	84.5
掛 売 上	35,228	1.9	15.5
合 計	226,944	0.6	100.0

### ロ. 法人・個人別売上構成比(掛売上)

(単位:%)

区 分	当中間期	前年中間期	対前年
法 人	21.7	21.8	1.6
個 人	78.3	78.2	2.0
計	100.0	100.0	1.9

### ハ. 自社カード売上高及び稼働客数

(単位:千人、百万円、%)

区 分	稼働客数	売 上 高	対前年	全社個人売上に占める構成比
お得意様カード	83	26,650	2.4	12.3
ゴールドポイントカード	77	8,732	3.7	4.0
ポイントカード	441	40,815	42.0	18.8
エクセルカード	51	2,534	50.4	1.2
提携カード	31	1,565	10.3	0.7
DAIMARU CARD	280	28,232	-	13.0
計	963	108,529	2.8	50.0
大丸Dカード	638	30,993	194.9	14.3
札幌Dカード	214	2,878	74.1	1.3
その他	186	15,058	12.6	6.9
合 計	1,611	145,462	5.5	67.2

(注)

・大丸Dカードについては、平成17年3月から、DAIMARU CARDについては、平成18年1月から順次各店で稼働しております。  
 ・その他は、「友の会」、「うふうクラブ」、「エキップクラブ」などのサークルカード売上であります。  
 ・合計欄数値は、ダブルホルダーがある為、合算とは異なります。

### 商品別売上高及び粗利益率

(単位:百万円、%)

商品別	金 額	対前年	構成比	前年構成比	粗利益率	対前年率差
衣 料 品	100,822	0.3	44.5	44.8	31.10	0.13
身 回 品	28,675	1.0	12.6	12.6	30.68	0.31
家 庭 用 品	10,860	1.4	4.8	4.8	29.43	0.16
食 料 品	51,053	2.5	22.5	22.1	18.52	0.20
雑 貨	25,052	0.5	11.0	11.0	26.29	0.48
そ の 他	10,480	1.3	4.6	4.7	18.27	0.41
合 計	226,944	0.6	100.0	100.0	26.90	0.08

### 店別営業日数及び総入店客数

	営業日数		増減	総入店客数	対前年
	当中間期	前年中間期			
	日	日	日	千人	%
心齋橋店	184	184	0	7,990	0.0
梅田店	184	184	0	10,836	0.8
東京店	184	184	0	11,663	3.0
京都店	184	184	0	8,908	2.4
神戸店	184	184	0	7,278	1.0
札幌店	184	184	0	11,176	3.6
合計			0	57,852	0.1

### 客単価・購買率

	当中間期	前年中間期	対前年(%)	(注)
客単価 (円)	4,549	4,583	0.7	客単価 = $\frac{\text{現金売上高}}{\text{シート発行枚数}}$
購買率 (%)	66.9	66.2	0.7	購買率 = $\frac{\text{シート発行枚数}}{\text{入店客数}}$

### 3. 設備投資額(当中間期及び年度計画)

- ・当中間期の設備投資額は34億41百万円、年度の設備投資額は75億円を予定しており、所要資金は自己資金で賄う予定であります。内訳は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

店舗別	当中間期	年度計画	主な内容
心齋橋店 関連工事	178	800	売場改装、メンテナンス工事他
梅田店 "	457	700	婦人服売場改装、メンテナンス工事他
東京店 "	64	200	メンテナンス工事他
京都店 "	138	400	売場改装、メンテナンス工事他
神戸店 "	1,272	1,500	神戸店本館売場改装、新長田店全館改装、メンテナンス工事他
札幌店 "	148	300	売場改装、メンテナンス工事他
その他 (うちシステム開発関連)	1,184 ( 952)	3,600 ( 1,100)	大丸ららぼーと横浜店・東京新店工事代金、 新ギフトシステム開発他
合計	3,441	7,500	

### 4. 販売費及び一般管理費(当中間期及び年度予想)

(単位:百万円、%)

内 訳	当中間期 (18.8)			年度予想 (19.2)		
	金額	対前年	売上比	金額	対前年	売上比
人件費	17,601	5.5	7.8	35,506	5.4	7.5
広告宣伝費	7,127	1.8	3.1	15,000	1.4	3.2
(内ポイント費)	3,824	7.4	1.7	8,407	6.5	1.8
包装配達費	1,995	1.4	0.9	4,155	2.0	0.9
減価償却費	2,808	5.3	1.2	5,614	4.6	1.2
賃借料	7,094	0.5	3.1	14,241	0.4	3.0
作業費	3,822	5.6	1.7	7,441	1.7	1.6
その他経費	12,984	2.4	5.7	26,340	2.4	5.6
合計	53,434	1.8	23.5	108,300	1.4	22.9



## 5. 特別損益の内訳（当中間期及び年度予想）

（単位：百万円）

内 訳	当中間期 (18.8)	年度予想 (19.2)	備 考
特 別 利 益	4,180	4,260	
1. 固定資産売却益	4,180	4,260	遊休不動産（当中間期2物件、年度予想3物件）
特 別 損 失	222	630	
1. 固定資産除却損	166	264	
2. 新設店舗開設前費用	56	365	大丸ららぽーと横浜店

## 6. 従業員数の推移

（単位：人）

	H17.8末	H18.2末	H18.8末	H19.2末(予想)
社 員 (うち非稼働)	3,559 ( 94 )	3,453 ( 109 )	3,405 ( 104 )	3,305 ( 104 )
嘱 託	167	165	169	173
パート・セルパ・トク	1,788	1,777	1,777	1,897
合 計	5,514	5,395	5,351	5,375

## 7. 貸借対照表科目の主な増減理由

当中間期末残高が、前期末及び前中間期末と比較して、大きく増減している科目及び増減理由は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

科 目	当中間期末(18.8)	前中間期末(17.8)	増減高	前期末(18.2)	増減高
1. 現 金 及 び 預 金	30,456	13,733	16,723	17,970	12,486
2. 建 物 及 び 構 築 物	56,478	59,727	3,249	58,590	2,112
3. 土 地	40,163	41,469	1,306	42,512	2,349
4. 投 資 有 価 証 券	32,581	29,359	3,222	33,373	792
5. 繰延税金資産(固定)	6,646	12,517	5,871	10,157	3,511
6. 短 期 借 入 金	29,414	36,006	6,592	29,100	314
7. 預 り 金	35,225	33,292	1,933	34,174	1,051
8. 社 債	22,500	13,500	9,000	22,500	0
9. 長 期 借 入 金	17,544	23,415	5,871	17,679	135

### ・対前中間期末増減理由について

2. 3. 主に城東物流センター、堀江商品倉庫売却と減価償却の進展による減
4. 主に株式評価替による増
5. 主に固定資産の売却並びに取崩及びその他有価証券評価差額に係る繰延税金負債との相殺額の増加による減
7. 主にグループ資金一元化による子会社からの資金預りの増
8. 平成17年9月新規発行90億円

### ・対前期末増減理由について

2. 3. 主に城東物流センター、堀江商品倉庫売却による減
5. 主に固定資産の売却並びに取崩による減
7. 主にグループ資金一元化による子会社からの資金預りの増